

1. セッション名

EarthCARE/CPR の開発と衛星搭載レーダによる大気観測技術の発展と展望

2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
	富田英一	JAXA 第一宇宙技術部門 EarthCARE/CPR プロジェクトチーム	

3. 概要

日本は、衛星搭載レーダ技術を用いた大気観測において世界をけん引してきた。この、日本の強みともいえるレーダ技術を活かし、EarthCARE/CPR として、世界初となるドップラー速度計測機能付きW帯雲レーダ（CPR）も開発中である。本セッションでは、開発中の CPR の紹介と、大気観測のためのレーダ技術、これまでの成果、および今後の展望について紹介する。

4. セッション構成、発表件数

登壇者による講演形式で、2セッションで実施。

最新の EarthCARE/CPR の開発紹介を皮切りに、日本が世界をけん引してきたレーダ技術の成果と将来の展望について紹介する。発表件数は5項に示す8件。

セッションチェア（司会）は以下の通り。

氏名	司会セッション	所属	連絡先
岡田和之	セッション1(OS30-1)	JAXA 第一宇宙技術部門 EarthCARE/CPR プロジェクト チーム	
丸山健太	セッション2(OS30-2)	JAXA 第一宇宙技術部門 EarthCARE/CPR プロジェクト チーム	

5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

セッション#	発表題目	著者	所属	講演登録番号
OS30-1	EarthCARE 衛星搭載次世代型アクティブセンサと期待される科学的成果	岡本 創	九州大学	SBM000014
OS30-1	EarthCARE/CPR の開発状況	丸山 健太	宇宙航空研究開発機構	SBM000013
OS30-1	地上設置雲観測レーダの開発 -EarthCARE/CPR の検証-	堀江 宏昭	情報通信研究機構	SBM000042
OS30-1	ロケット打上げにおける気象レーダの役割について	森 一高	宇宙航空研究開発機構	SBM000074
OS30-2	降水観測レーダの成果と今後の展開	高橋 暢宏	名古屋大学	SBM000016
OS30-2	TRMM,GPM/DPR,CPRの開発について	平山 勝規	株式会社 日本電気	SBM000044
OS30-2	将来の衛星レーダ観測ミッション	古川 欣司	宇宙航空研究開発機構	SBM000015
OS30-2	地球観測用衛星搭載レーダの要素技術 研究開発	植松 明久	宇宙航空研究開発機構	SMB000088